

3月定例議会

〔期間2月23日～3月20日/26日間〕

23日 議案上程
 26～28日 代表・一般質問、議案質疑
 9～15日 各委員会（15日企画総務）
 20日 討論・議決

3月議会は、2月23日（金）から26日間で終わりました。途中、予算説明会や小中学校卒業式があるため、期間がいつもより長くなっています。また、議会活性化のため「予算特別委員会」は全議員が所属し、担当委員会ごとに「分科会」を設け、質疑などを行ないました。

平成19年度は、「渡刈クリーンセンター」が稼動し、「プラスチック製容器包装の分別収集」「緑のリサイクル施設整備」が進められます。また、「子ども読書活動推進事業」の一環として「学校図書館指導員（図書館司書）」が派遣されることが決まりました。いずれも、あきたか議員が提言したことが実際に動き出しました。

良いことばかりではありません。「公用車による交通事故」は、定例議会には必ず報告される、という事態になっています。委員会の中でも質問しましたが、もっと徹底しなければ「0（ゼロ）」にはなりません。ある議員が言いました。「走る距離が多いのだから、それぐらいは仕方がない。」と。本当でしょうか？一般企業の運送会社における交通事故は、そんなことで治まるのでしょうか？事故が起きれば、すぐに行政処分になるのではないのでしょうか？会社のお金で費用は見てもらえるのでしょうか？行政に勤めるものは、市民の模範とならなければいけないのではないのでしょうか。行政がもしもその程度の認識しかないのだとしたら、「交通事故0（ゼロ）運動」は、できないことになってしまいます。～して見せて、言ってみせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ。～

最終日（20日）に「地域拠点整備活性化特別委員会の調査研究結果報告」を行ないました。昨年5月17日に本議会において設置されて以来、委員会を12回開催し、調査研究してまいりました。提言は①アドバイザーの設置 ②シルバー人材センターの機能拡充 の2点について行いました。また、その他の視点として、ア. ITの活用 イ. 公共交通の活用と整備などを挙げ、「人・もの・情報」の移動がスムーズに行なえる施策が必要と訴えました。

あきたか スナップ



地域拠点整備活性化特別委員会



豊南中学校卒業式



消防団表彰式



3月議会委員長報告



四季折々

●ウソがウソを呼ぶ、という現象が最後には自分をおとしめる。その例が今国会で行なわれている、議員宿舍費用の問題である。●ウソはドロボウの始まり、とはよく言ったもので、私にも小さい頃そんな過ちを犯したことがある。しかし、そのときの気持ちといつたら、情けないほど嫌な気持ちであった。そんな気持ちでは、何をやってもうまくいかないものだ。●間違いを犯したらすぐに謝る、ということが大切だ。しかし、わかっていてもできないというのは、人である。そうしたときに大切なのが、友であり、家族である。●いかに日頃家族と接しているかで、そうしたときも力になってくれるか、くれないかが決まってしまう。やはり常日頃からか。（あ）